



政治専攻「演習1・2」
第2期第3次募集



【目次】

1. 募集について
2. 募集に関する注意事項
3. 選考方法
4. ゼミ内容

1. 募集について

【募集スケジュール】

第 1 次 募 集
終了しました。

第 2 次 募 集
終了しました。

第 3 次 募 集	
応 募 期 間	2023 年 3 月 27 日（月）12 時 ～ 4 月 4 日（火）12 時 50 分
選 考 期 間	2023 年 4 月 5 日（水） ～ 4 月 6 日（木）
合 否 発 表	2023 年 4 月 7 日（金）20 時予定 / K-SMAPYII にて

【応募方法】

K-SMAPYII より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

※K-SMAPYII からの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがありましたので必ず K-SMAPYII からの応募も行ってください。応募がない場合は無効になります。

2. 募集に関する注意事項

※ 必ず、別紙「政治専攻「演習」第 2 期第 3 次募集について(新 3 年生向け)」および「政治専攻「演習Ⅱ」第 2 期第 3 次募集について(新 4 年生向け)」もよく読んで応募してください。

- (ア) 必ず応募期間に応募してください。応募期間外に応募は認められません。
- (イ) K-SMAPYⅡからの応募がなく、課題の提出だけをしているケースがありますので、必ず K-SMAPYⅡから応募も行ってください。
- (ウ) 担当教員によって選考方法は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
- (エ) 毎年ありますが、提出期限を超えたりレポートの提出は認められません。
- (オ) 合格後に、他のゼミへの変更はできません。

[【目次に戻る】](#)

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

[【目次に戻る】](#)

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			面接日時		面接方法	
稲垣 浩	募集なし					
上神 貴佳	・現在当該ゼミ履修中の新4年生	レポート	提出方法	アンケート画面で回答	本演習を志望する理由	(字数)1,000字
			締切日時	4月4日(火)12:50		
小原 薫	募集なし					
菊田 真司	・新3年生 ・新4年生 ・編入学生 ・転部・転科・転専攻生	レポート	提出方法	面接時持参	自己紹介とゼミの志望理由	(書式)Word形式、A4横書 (字数)800字程度
		面接	4月5日(水)13:00～		若木タワー7階 0712 研究室	
坂本 一登	募集なし					
佐藤 俊輔	・現在当該ゼミ履修中の新4年生 ・編入学生 ・転部・転科・転専攻生	レポート	提出方法	メール送付 s.sato@kokugakuin.ac.jp	①この演習を志望する理由 ②現在関心を持っている国際関係の課題、事象について	(書式)A4・Wordファイル・横書き (字数)1,500字以上
			締切日時	4月4日(火)12:50		
芝崎 祐典	募集なし					
羅 芝賢	募集なし					
藤嶋 亮	募集なし					
宮下 大志	・新2年生 ・「2つ目のゼミ」として応募する新2～4年生	レポート	提出方法	メール送付 miyashita@kokugakuin.ac.jp	現在の日本の政治をどう評価するか	(書式)自由(ただしWordファイルかPagesファイルでメール添付提出) (字数)1,200字程度
			締切日時	4月5日(水)19:00		
		面接	4月6日(木)13:00		対面にて実施 (0810研究室集合)	

※上表の学年は2023年4月1日時点のものです。

4. ゼミ内容

[【目次に戻る】](#)

教員名	上神 貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	平成も約 30 年をもって、令和という新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。 近年、平成を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編（2019 年）などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ（歴史としての平成と日本政治）について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。 本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が本演習のテーマに沿って、レポートを作成して提出してもらう。
教科書	小熊英二（編）『平成史【完全版】』河出書房新社，2019 年。
参考文献	薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣，2014 年。 佐藤優・片山杜秀『平成史』小学館，2018 年。 など
備考	

[【目次に戻る】](#)

教員名	荏田 真司
演習テーマ	「リベラル」とリベラリズムの現在
演習内容	現代のデモクラシーは、リベラル・デモクラシーであると言われます。つまり、リベラリズムとデモクラシーが結びついたものなのです。リベラリズムは、価値の多元性を重視して、価値の選択に関する個人の自由を重視する立場で、広い意味でこの立場に立つ人々のことを「リベラル」と呼びます。「リベラル」は、個人の自由を重視するだけでなく、社会的な公正や弱者に対する配慮などを重要な価値と考えており、20世紀の重要な政治的な立場の1つでした。 しかし、現代では、「リベラル」の立場はさまざまな方面から攻撃に晒されています。平等を重視する政策を批判して、経済的な自由に対する制約を解除しようとする動きは1980年代から続いています。現代では、弱者への配慮を否定して移民排斥を主張する集団や、秩序の安定のために市民的自由を制約しようとする動きさえあります。 今年度の演習では、「リベラル」の思想的・政治的歴史をたどって、その現代的な状況を明らかにするとともに、「リベラル」の思想的根拠であるリベラリズムの意味を再考してみることになります。 演習は、指定されたテキストを読み、担当者が報告した後で、全員で討論する形で行われます。演習参加者は、これに加えて、自分の好きなテーマについて論文を執筆してもらい、論文報告会で報告してもらいます。論文は、基本的に演習時間外に執筆してもらいます。 なお、選考にあたっては、議論に積極的に参加する意欲のある人を優先します。
教科書	田中拓道、『リベラルとは何か』、中公新書、2020年 吉田徹、『アフター・リベラル』、講談社現代新書、2020年 パトリック・J・デニーン、『リベラリズムはなぜ失敗したのか』、原書房、2019年 ヘレン・ローゼンブラット、『リベラリズム 失われた歴史と現在』、青土社、2020年 など
参考文献	マイケル・フリーデン、『リベラリズムとは何か』、ちくま学芸文庫、2021年 神島裕子、『正義とは何か』、中公新書、2018年
備考	・面接当日に都合が悪くなった場合には、karita@kokugakuin.ac.jp までメールで申し出てください。質問もこちらのアドレスまで。 ・「政治哲学入門」を履修済み・履修中・履修予定であることが望ましいです。

[【目次に戻る】](#)

教員名	佐藤 俊輔
演習テーマ	戦後ヨーロッパと国際秩序
演習内容	この授業は、大きく3つの内容を柱として行う予定です。第1の内容は、演習テーマに則った共通文献の輪読です。今年度は「戦後ヨーロッパと国際秩序」と題して、第二次世界大戦以降のヨーロッパを中心として国際政治について研究を行います。現在、ロシアによるウクライナ侵攻は国際秩序に深刻な影響を与えていますが、本演習は第二次世界大戦後のヨーロッパの国際関係や、ドイツ統一など冷戦終焉前後の秩序変動、またそれらの変動の中に生じたヨーロッパ統合の歴史等について広く考察し、知見を深めることを通じて、現在に至るヨーロッパや国際秩序の在り方がどのように形成されてきたのかを考えていきます。 第2に、この演習では主に前期の期間を通してグループ研究を行い、履修者の関心に応じた主題を選択して、調査研究・報告を行ってもらいます。第3の柱として、演習論文の執筆があります。特に後期の期間には、個々人で関心を持つ国際政治上の主題につき自由に選択をしてもらい、これに関する研究、また最終的には演習論文の執筆を行ってもらうことを予定しています。
教科書	開講時に指示します。
参考文献	参考文献は上記を予定していますが、変更もあり得ます。詳細は開講時に指示します。 山本健『ヨーロッパ冷戦史』ちくま新書、2021年 アンドレアス・レダー（板橋拓己訳）『ドイツ統一』岩波新書、2020年 益田実・山本健〔編著〕『欧州統合史—二つの世界大戦からブレグジットまで』ミネルヴァ書房、2019年
備考	

[【目次に戻る】](#)

教員名	宮下 大志
演習テーマ	「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来、どうしよう？」
演習内容	日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。 日本の政治と民主主義は、かつては「55 年体制」のもと、かわりばえのしない、そしてあまりよくないイメージで見られてきました。しかしみなさんの生まれる 10 年ほど前、その「55 年体制」が崩れ、また日本の政治状況の変化もあって、55 年体制の時代とは違う要素も出てくるようになりました。一応、政権交代も起こりましたが、その後「〇〇一強」という状況になって、しかしその後また変化の兆しも見せています。 そして社会の状況としては、格差問題、女性の権利の問題などをどうするべきか、問いかけられている状況ではないかと思います。 そこで来年度のゼミでは、この日本の政治・民主主義について、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。 そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということを行なう予定です。 そしてその際には、欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。 なお、応募者は、「現在の日本の政治をどう評価するか」というテーマで、自分なりの今の日本の政治についての評価を記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。
教科書	開講時に指定します。
参考文献	必要に応じて紹介します
備考	面接は、対面での面接としたいと思います。個別面接ですので、全体としては 4/6（木）の 13 時開始ですが、その時間に集合していただいた上で、個人個人の面接時刻を指定します。 なお、面接は一人 15 分ほどを予定しています。ですので、応募者が例年になく多くならない限り、当日の面接は遅くとも 14 時 30 分には最後の面接を終えられるかと思います。